

施策項目6 キャリア教育の充実

【評価結果】

【担当課：高校教育課(義務教育課、社会教育課)】



担当課HP

総合評価	進展あり
-------------	-------------

定量評価 [指標]	C
-----------	---

指標	評点	(a)	(b)	(c)	(d)
	評価数	1	0	0	3
	d評価となった指標	①②			

定性評価 [施策]	進展あり
<p>キャリア教育の充実に向けて、進学や就職などの進路の目標が決まらないまま卒業を迎える生徒が一定程度いることから、道教委が作成するリーフレット等を活用するなど、キャリア教育の充実に向けて、各学校へ指導助言を行った。また、主権者教育の充実に向けて、学校教育指導訪問や研修事業等において、道教委が作成する手引等を活用して指導助言を行った。高等学校においては、就業後3年以内に離職する割合が全国と比べて高い状況にあることから、早期離職防止に向けた取組など、効果的な就職指導の取組をまとめた事例集を作成することや、キャリアプランニングスーパーバイザー研修の内容を工夫し、学校に対する就職支援の効果的な事例を共有できたことにより、就職指導の在り方について今後の方向性が決まるなど、施策の進展が認められる。</p>	

【施策の推進状況】

【P】・・・「Plan 令和4年度の主な施策」 【D】・・・「Do 主な取組の状況」
 【C】・・・「Check 施策の課題」 【A】・・・「Action 今後の方向」

《課題・背景》	<p>(1)一人一人のキャリア発達への支援の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校と社会との接続を意識し、一人一人の社会的・職業的自立に向けて必要となる資質・能力を育むことができるよう、児童生徒のキャリア発達への支援の充実が求められている状況であるほか、高等学校では、進路の目標が決まらないまま卒業する生徒が一定程度存在 <p>(2)主権者教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 客観的かつ公正な資料に基づいて指導するよう留意することが求められている状況 生徒が主権者として社会の中で自立し、他者と連携・協働しながら、社会を生き抜く力や、地域の課題解決を社会の構成員として主体的に担う力を身に付けさせることが必要
---------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(1)一人一人のキャリア発達への支援の充実	
[P]	<p>①指導資料「『キャリア・パスポート』」の効果的な活用に向けて、国が作成した資料等を活用し、学校教育指導訪問を通じた指導助言</p> <p>②「高等学校就業体験活動推進事業」の継続実施</p> <p>③「就職指導の改善に関する研究」の継続実施</p> <p>④「北海道CLASSプロジェクト」の継続実施</p>
[A]	<p>①令和5年度教育課程改善の手引に「キャリア・パスポート」の活用の工夫について掲載するとともに、指導助言等で活用</p> <p>②就業体験活動の好事例をまとめたリーフレット等を活用して、各学校への指導助言を継続して実施</p> <p>③職業意識の向上などに取り組むキャリアプランニングスーパーバイザーを対象として、オンライン研修の内容を工夫し、就職問題に対応した指導を充実</p> <p>④高校生が実習で生産した商品や企業等と連携して開発した商品を、北海道のアンテナショップ等で販売するなど、特色ある学習活動で取り組んだ成果を積極的に発信</p>
[D]	<p>①指導主事の学校訪問等において、道教委指導主事が作成した資料や国が作成した資料を活用し、キャリア教育の充実やキャリア・パスポートの確実な引継ぎと活用について指導助言</p> <p>②進学希望者であっても、アカデミック・インターンシップに取り組むよう指導助言（道立高校全日制・実施率76.4%）</p> <p>③北海道労働局をはじめとした関係機関で構成される北海道高等学校就職問題検討会議において、就職慣行の見直しなど、高校生の就職活動のより良い在り方について検討</p> <p>④地学協働を進めるための総合的な探究の時間を軸とした教育課程の編成について指導助言（10月開催、参加者：地域コーディネーター等11名参加）</p>
[C]	<p>①「キャリア・パスポート」については、全ての小・中学校で引継ぎが行われているものの、効果的な活用状況に差が見られることから、新たな学習や生活への意欲につなげたり、将来の生き方を考えたりする際に活用するよう指導助言を充実させることが必要</p> <p>②アカデミック・インターンシップの意義を広く認識してもらうとともに、大学等の専門機関が近隣にない地域におけるアカデミック・インターンシップの推進が必要</p> <p>③全国と比較して早期離職の割合が高いことから、就職活動のよりよい在り方に関する継続的な検討と、高校生の職業意識を向上させることが必要</p> <p>④地学協働の取組において、地域とつながっているという感覚が学校はまだ不十分であり、地域と連携した取組の成果を普及する機会が必要</p>

(2)主権者教育の推進	
[P]	<p>①学校教育指導訪問及び教科指導訪問を通じた指導助言</p> <p>②教育課程編成・実施の手引で主権者教育に係る内容の資料作成、実践事例等の記載</p> <p>③授業研究セミナー（地理歴史・公民）において、新科目「公共」の研究授業及び研究協議を実施</p>
[A]	<p>①学校教育指導訪問、教科指導訪問ひ全道代表高等学校長研究協議会を通じて「高等学校教育課程編成・実施の手引」を活用して指導助言</p> <p>②・③</p> <ul style="list-style-type: none"> 「高等学校教育課程編成・実施の手引」において、研究指定校で取り組んだ模擬選挙や模擬裁判等の具体的な実践事例を紹介 授業研究セミナー（地理歴史・公民）において、新科目「公共」の研究授業及び研究協議を実施 各教科等教育課程研究協議会（公民）において、主権者教育の充実に向け、具体的な実践事例をもとに指導助言
[D]	<p>①学校教育指導訪問及び教科指導訪問を通じて主権者教育の充実に向けた指導助言を実施するとともに、北海道議会事務局や道教委等が作成した資料等を活用して、適切かつ効果的に指導するよう指導助言</p> <p>②高校教育課Webページや手引において、選挙権年齢や成年年齢の引下げを踏まえた主権者教育の実践事例の紹介</p> <p>③授業研究セミナーにおいて、新科目「公共」の研究授業及び研究協議の開催による成果の普及（11～12月に全道4会場（深川市、新ひだか町、名寄市、北見市）で地理歴史科・公民科担当教諭等を対象に実施）</p>
[C]	<p>①～③</p> <ul style="list-style-type: none"> 主権者教育の指導の一層の充実を図るため、外部機関と連携しながら、具体的な実践事例を紹介することが必要 主権者教育の中核となる教科「公民」の担当教員が、より実践的な学習を行うことができるようにするため、授業研究セミナーの内容について、取組の成果を普及することが必要

[指標の状況及び評価]

指標の内容	基準値	目標値（上段）						進捗率	評価	出典 (調査名等)	実施 主体	調査期 日又は 調査対 象期間	指標の 対象	
		実績値（下段）												
		(H29)	(H30)	(R元)	(R2)	(R3)	(R4)							
① 「将来の夢や目標を持っている」という設問について、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した小学校6年生、中学校3年生の割合(%) 【全国学力・学習状況調査】	小	(H29)		87.9	90.9	-	96.9	100	78.5%	d	全国学力・学習状況調査	文科省	R4.4	公立小・中学校 (小6、中3)
		84.8	84.8	84.0	82.0	(78.7)	79.0	78.5						
	中	(H29)		75.9	81.9	-	93.9	100	66.3%	d				
		69.6	69.6	71.3	70.6	(70.0)	67.3	66.3						
② 道立高等学校において、在学中に自己の在り方生き方を考え、主体的に進路を選択できる力を育成するため、インターンシップなどの体験的な学習活動を経験した生徒の割合(%)	(H28)		65.2	73.4	81.6	89.8	100	42.7%	d	インターンシップ実施状況調査	道教委	R4.5~ R5.3	道立高等学校	
47.8	66.6	70.0	65.0	60.9	44.6	42.7								
③ 道立高等学校において、卒業時に、進学や就職などの進路希望を設定できない生徒数(人)	(H28)		812	608	404	200	0	121.3%	a	生徒の実態等に関する調査	道教委	R4.8	道立高等学校及び道立中等教育学校後期課程	
1,220	90	23	35	31	30	R5.10								
評価結果	(a) 指標数	(b) 指標数	(c) 指標数	(d) 指標数	定量評価		C							
	1	0	0	3										
新型コロナウイルスの影響により実績値が伸びなかった指標又は低下した指標に対する今後の取組	② 新型コロナウイルスの感染状況を踏まえながら、インターンシップ受入企業等を新たに開拓するなど、地域の企業等との連携をより一層推進して、受入企業を確保する。													
d評価に対する今後の取組	①② 指導資料『「キャリア・パスポート」の効果的な活用に向けて』や小・中学校教育課程改善の手引、リーフレット「キャリア教育の推進」等を活用した各学校への指導助言の充実を図る。													